



# 敬愛

令和3年11月10日

文責 輿石 信

第12号



「敷島中ホームページ」へ

## 『実りの秋』を迎えています。～学校開放日、公開研究会、人権講話、鍛錬、各種表彰～

日中は穏やかに晴れ、過ごしやすい、秋らしい爽やかな気候が続いています。“実りの秋”という言葉がありますが、本校においても、10月は、前号でお知らせしたように、中巨摩新人大会での活躍を始め、様々な活動で成果が見られました。今回は10月の様子を振り返ります。

### トピック1【学校開放日(10/19～22)】 多数の参観ありがとうございました。

10/22(金)に学校開放日として行う予定であった「芸術鑑賞教室」でしたが新型コロナにより実施を見送ったため、10/19(火)～22(金)を「学校開放ウィーク」として4日間にわたり、学年ごと時間を決めて授業を見ていただく機会を設けました。期間中は100人を超える保護者の方にお越しいただき、子どもたちの様子を見ていただくことができました。また、たくさんの心温まる感想もいただき、教職員一同、忙しい中にも充実感を覚え、「明日からまた子どもたちのために頑張っていこう」という、原動力となっています。本当にありがとうございました。感想のいくつかを紹介します。

- 学校生活にも慣れ、普段の子供の様子を見ることができました。その中で、授業に取り組む子供たちの個性を間近で感じました。先生の話真剣に聞いている子、赤や青など色の違うペンでノートをとる子、発言する子、独り言のように答えと一喜一憂する子など、全体が一生懸命でした。先生の笑いもあり、とてもよい雰囲気でした。(1年保護者)
- 新型コロナウイルスが流行してから初めて授業を参観しました。きちんと換気ができていました。観たのは英語でした。多くの時間が生徒たち同士が相談をしながら解答を導き出すことに割かれていて、コミュニケーション能力の向上が期待できる内容でした。こういったことはオンライン授業ではできないことですし、中学生にとって大切なことが育まれると感じます。これからも友達と楽しい学校生活が送れるように願います。そして、多くの学校行事が予定通り行われることを願っています。(2年保護者)
- 久しぶりに授業をゆっくり参観することができました。子供たちの様子がよくわかり、また、分散にしたため保護者の人数が少ないことで、自然体な雰囲気を共有することができ、とても有意義な時間となりました。ありがとうございました。(3年保護者)

### トピック2【公開研究会(10/25)】 たくさんの先生が授業を見に来ました。

10/25(月)の午後、本校で公開研究会を実施しました。これは、甲斐市教育委員会から令和2・3年度「豊かな学び・豊かな育ち推進事業校」に指定されたことを受け、ここまで研究・実践してきた成果を公開授業として市内小中学校の先生に見ていただくものです。当日は30人ほどの先生が本校を訪れ、1年生の理科(角田先生)、2年生の社会科(柗先生)、3年生道徳(佐野先生)の授業を参観しました。各授業では、グループ討議の場面やクロムブック、大型テレビの活用など創意工



夫がなされ、対話や話し合いを通して子供たちが主体的に授業に参加し学習を深めていく様子が見られました。また、授業後の研究会では本校職員と参観者による討議が行われ、県と市から招いた指導主事の先生からもさらなる授業改善についての助言や指導もいただきました。いただいた意見や助言は、今後の本校の日々の実践に生かし、子供たちにとって、わかりやすく楽しい授業づくりをしていきたいと思っています。

### トピック3【人権講話(10/26)】 2年生が人権について学びました。

10/26(火)の5校時、2年生が人権講話を実施し、NPO法人横浜国際人権センターから講師を招き人権について学習しました。講話の中では、「国境なき医師団」の紛争地での活動等をDVDで紹介したり、自身の体験談を交えながら、『人権とは「自分の命を守る権利」と「幸せになる権利」の2つの権利が世界中の誰にでもある』ということを中心に話してくれました。子供たちが真剣な眼差しで集中して聞いている姿がとても印象的でした。



### トピック4【「鍛練」の時間(10/28)】 3年生が気持ちの良い汗を流しました。



10/28(木)の6校時、3年生が島上条公園で「鍛練」の時間を行いました。「鍛練」の時間は、昭和40年(1965年)から50年以上続いている本校の伝統的な行事で、学校教育目標の一つである「体を鍛える生徒」の育成の一環として行っているものです。

今回は、本年度の第1回として3年生を対象に行いました。秋晴れのもと、公園の内外周を周回する2.3kmのコースを学級ごとに時間差でスタートしました。沿道に集まったPTAの役員さんや3年生の保護者の方の声援を受け、生徒たちはそれぞれが自分のペースで気持ちの良い汗を流しました。私も飛び入りで3年生と一緒に走りましたが、疲れた中にも体を動かした爽快感と充実感を覚えました。次回は2年生を対象に12/7(火)14:30から実施する予定です。ぜひ、子供たちの頑張る様子をご覧ください。

### トピック5【各種表彰(書道、標語、作文)】本校生徒が荣誉ある賞をいただきました。

ここのところ、本校の生徒の各種催しでの受賞が相次いでいます。紹介します。

#### ○JA共済 小・中学生書道コンクール

【知事賞】 長田 結衣 さん (3年生) 課題「初志貫徹」

【教育長賞】 小尾 芽生 さん (2年生) 課題「地域連携」

【テレビ山梨賞】 細田 歩花 さん (2年生) 課題「地域連携」 ※10/17 山日新聞掲載

・日頃の地道な積み重ねの成果が形となって現れたのだと思います。受賞した、長田さん、小尾さん、細田さん、本当におめでとうございます。3人の作品を新聞紙上で拝見しましたが、それぞれの作品にはそれぞれの気持ちや願い、意志が筆に込められていると感じました。すばらしい出来栄でした。「継続は力なり」の言葉どおり、続けることの大切さを改めて感じました。受賞したこともすばらしいことですが、それに費やした時間、その時間の積み重ねもとても尊いものと感じました。これからも大切にしていってほしいと思いました。



【知事賞】長田さん作品

#### ○甲府間税会税の標語コンクール

【甲府間税会会長賞】丸山 瑛大 さん (2年生) 作品『あなたの税 国を動かす 原動力』 ※10/27 山日新聞掲載

・3年の社会科(公民分野)では国民の3大義務として“納税の義務”について学習しますが、いずれは社会に出て行くことを考えると、中学生のうちに社会の仕組みや制度について興味・関心をもっておくことはとても大切だと感じます。丸山さんの作品は税のもつ意味を端的に捉えたわかりやすい標語となっていると思います。おめでとうございます。ちなみに、法改正に伴い令和4年の4月1日から成人年齢が18歳に引き下げられます。つまり、今の中学3年生は3年後には成人となり、積極的な社会参加が求められます。中学生のうちからニュースを見たり新聞を読んだりする習慣をつけ、社会に目を開き、成人となる準備をしておくといいですね。

#### ○全国中学生人権作文コンテスト山梨県大会

【甲府地方法務局長賞】小田切 莉桜 さん (2年生) 題名『笑顔を「おすそわけ」』 ※山日新聞に掲載予定

・本コンテストは、日常生活の体験を作文に書くことを通して、人権尊重の大切さや基本的人権について理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けることを目的に、法務省と全国人権擁護委員連合会が行っているものです。  
・小田切さんは、自分自身の体験を踏まえながら、人と接するときに笑顔を大切にしていくことで周囲の人に安心感を与えること、そして、そのことが一人一人の存在を大切に、人権尊重につながっていくことを自分の言葉で表現しました。笑顔のもつ力は大きいものと思います。受賞おめでとうございます。  
・学校だより第10号でもお知らせしたSDGsですが、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」、目標10「人や国の不平等をなくそう」、目標16「平和と公正をすべての人に」は、特に「人権」と関わりの深い項目です。常日頃から関心をもって見たり来たり調べたり考えたりしてみましょう。